



2017年11月期 業績説明

2017年11月期 連結決算概要

科目	金額	前期比 前期差	予算比 予算差
グループ売上*	8兆2,654億円	104.5% +3,561億円	99.2% ▲695億円
営業収益	4兆4,797億円	104.4% +1,907億円	99.2% ▲339億円
営業利益	2,957億円	108.0% +217億円	102.3% +67億円
経常利益	2,957億円	107.0% +193億円	102.7% +79億円
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,492億円	197.6% +737億円	103.1% +45億円

* グループ売上: セブン-イレブン・ジャパン及び7-Eleven, Inc.における加盟店売上を含めた数値

2017年11月期 セグメント別営業収益

セグメント	金額	前期比	前期差
連結営業収益	4兆4,797億円	104.4%	+1,907億円
国内コンビニエンスストア	7,050億円	103.2%	+219億円
海外コンビニエンスストア	1兆4,728億円	121.2%	+2,575億円
スーパーストア	1兆3,991億円	96.9%	▲450億円
百貨店	4,793億円	91.5%	▲447億円
金融関連	1,525億円	102.4%	+36億円
専門店	3,094億円	98.2%	▲55億円
その他	178億円	98.3%	▲3.1億円
消去および全社	▲565億円	-	+33億円

2017年11月期 セグメント別営業利益

セグメント	金額	前期比	前期差
連結営業利益	2,957億円	108.0%	+217億円
国内コンビニエンスストア	1,884億円	100.6%	+10億円
海外コンビニエンスストア	639億円	120.4%	+108億円
スーパーストア	90億円	91.3%	▲8.6億円
百貨店	2.8億円	-	+32億円
金融関連	394億円	101.4%	+5.4億円
専門店	6.9億円	-	+67億円
その他	34億円	114.1%	+4.2億円
消去および全社	▲95億円	-	▲2.0億円

2017年11月期 主要事業会社の営業利益

事業会社	金額	前期比	前期差
セブン-イレブン・ジャパン	1,875億円	100.2%	+4.4億円
7-Eleven, Inc. (ドルベース)	727億円 (650,395千ドル)	122.5% (118.9%)	+133億円 (+103,185千ドル)
イトーヨーカ堂	▲24億円	-	+18億円
ヨークベニマル (ライフフーズ*込み)	117億円	87.7%	▲16億円
そごう・西武	▲1.4億円	-	+16億円

* ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマルの店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社
ライフフーズ込みの営業利益は管理上の数値

2018年2月期 連結業績予想

通期

科目	金額	前期比 前期差
グループ売上	11兆1,500億円	105.0% +5,284億円
営業収益	6兆1,000億円	104.5% +2,643億円
営業利益	3,865億円	106.0% +219億円
経常利益	3,850億円	105.7% +205億円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,770億円	182.9% +802億円

4月6日に公表した連結業績予想は変更ございません



補 足 資 料

国内コンビニエンスストア事業：実績

セブン-イレブン・ジャパン



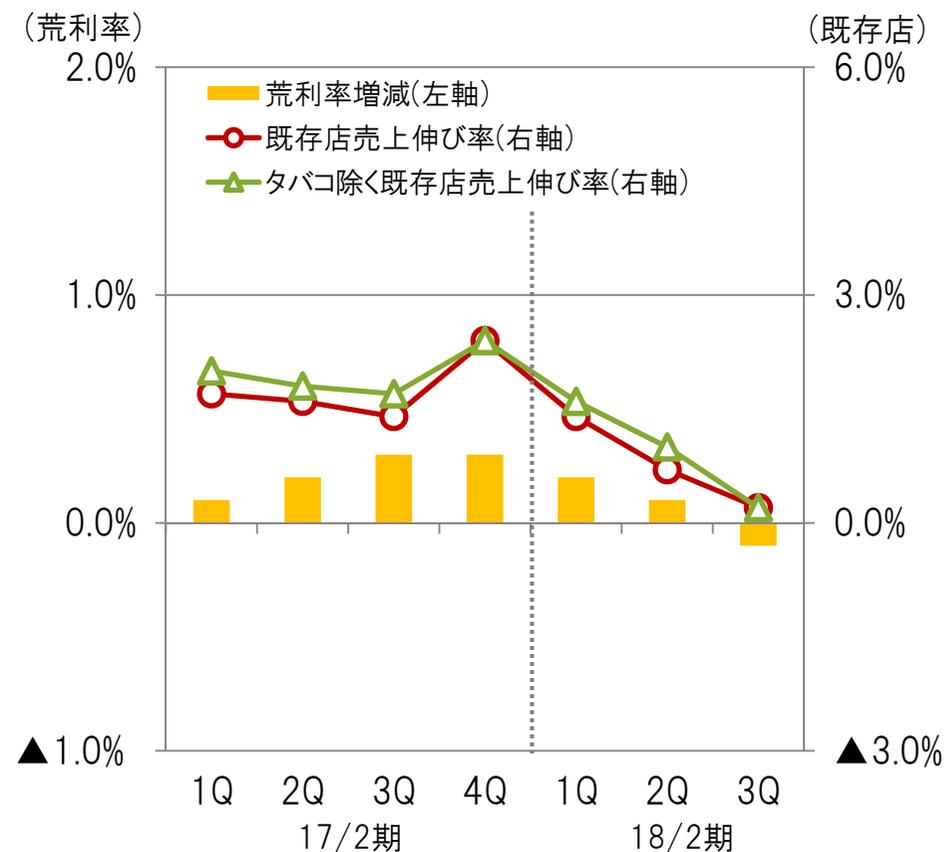
主に既存店売上と荒利率の改善により、7期連続で過去最高益を達成

	実績	前期比
営業利益	1,875億円	100.2% +4.4億円
既存店売上伸び率	+0.8%	
商品荒利率	31.9%	+0.1%

概況

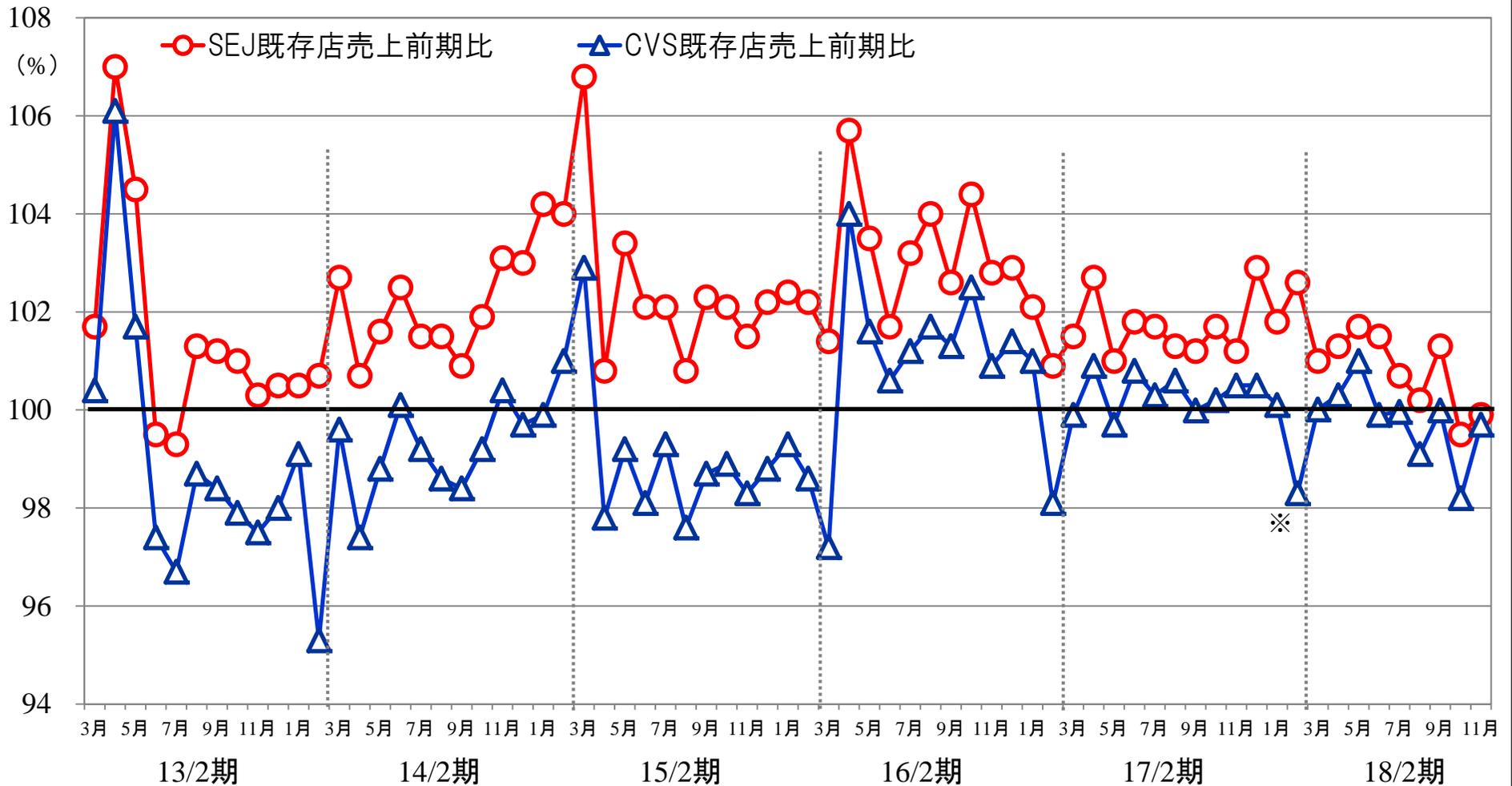
- ・既存店売上：品質を向上したデイリー商品やカウンター商品の伸長が牽引
- ・荒利率：フライヤー商品やセブンカフェ等の高荒利率の販売伸長等で改善
- ・営業利益：既存店売上の伸長と荒利率改善に加え、販管費の伸びを圧縮し、過去最高益を達成

■ 四半期別の推移



SEJ：既存店売上前期比の推移

■ SEJ既存店売上前期比とCVS既存店売上前期比の推移（日本フランチャイズチェーン協会）

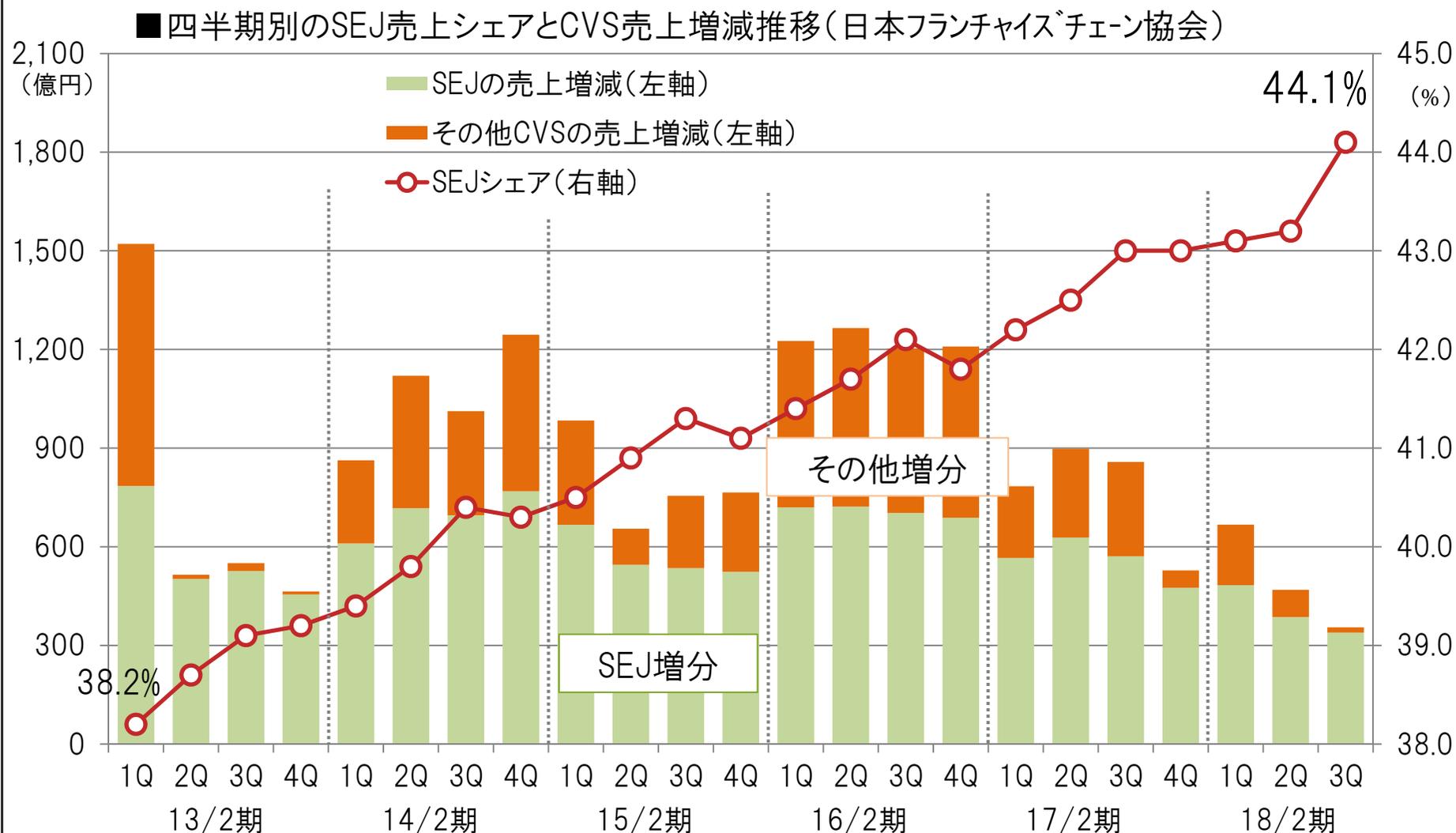


※ CVS既存店前期比の16年2月の数値は、閏年影響を含む総売上での前期比(101.6%)から日販ベースに換算した数値を表示

(出典)JFAコンビニエンスストア統計調査月報

SEJ: 四半期別売上シェアと売上増減の推移

● 既存店売上の伸長により、売上シェアは過去最高の44.1%に拡大



(出典)JFAコンビニエンスストア統計調査月報

海外コンビニエンスストア事業：実績

7-Eleven, Inc.



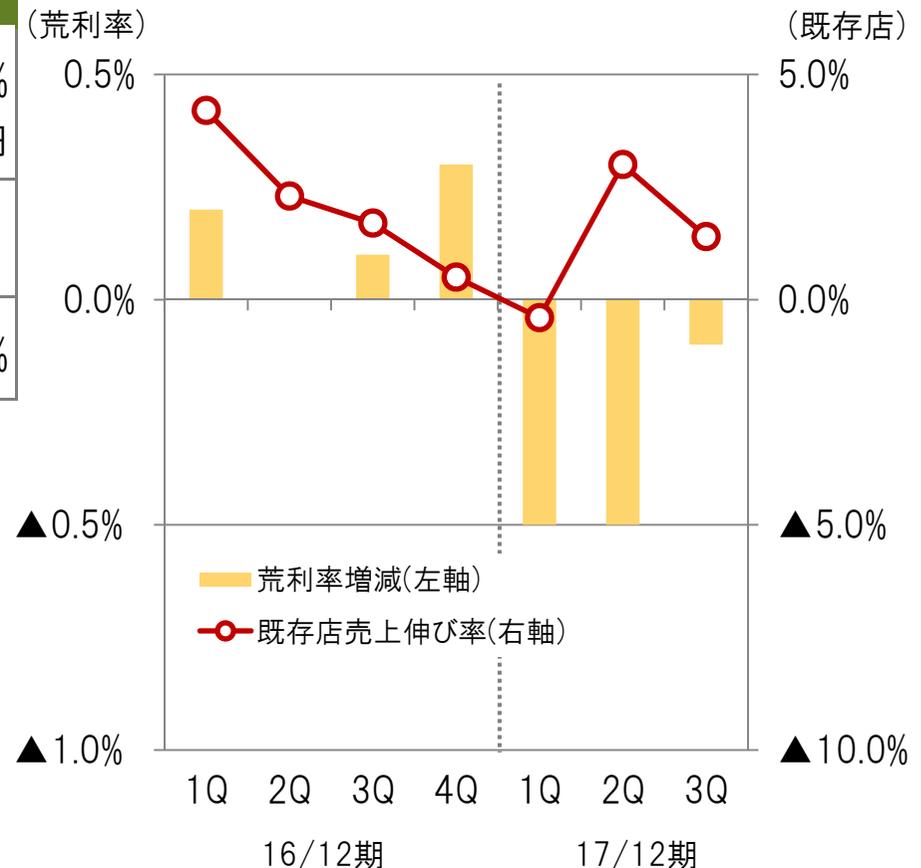
商品荒利率悪化も、既存店売上の伸長やガソリン売上が好調に推移したことなどにより増益

	実績	前期比
営業利益	727億円	122.5% +133億円
米国内既存店商品売上 伸び率(ドルベース)	+1.5%	
商品荒利率	34.6%	▲0.3%

概況

- ・既存店売上：天候影響があったものの、タバコの販売が好調に推移したことなどによりプラス
- ・荒利率：低荒利率のタバコ売上が伸長したことや飲料等の販売が減少したことにより悪化
- ・営業利益：商品荒利率は悪化したものの、好調なガソリン売上などにより増益

■ 四半期別の推移



スーパーストア事業：実績①

イトーヨーカ堂



既存店売上マイナスも、販管費の削減や荒利率の改善により増益

	実績	前期比
営業利益	▲24億円	- +18億円
既存店売上伸び率	▲2.1%(▲1.4%*)	
商品荒利率	29.5%	+0.4%

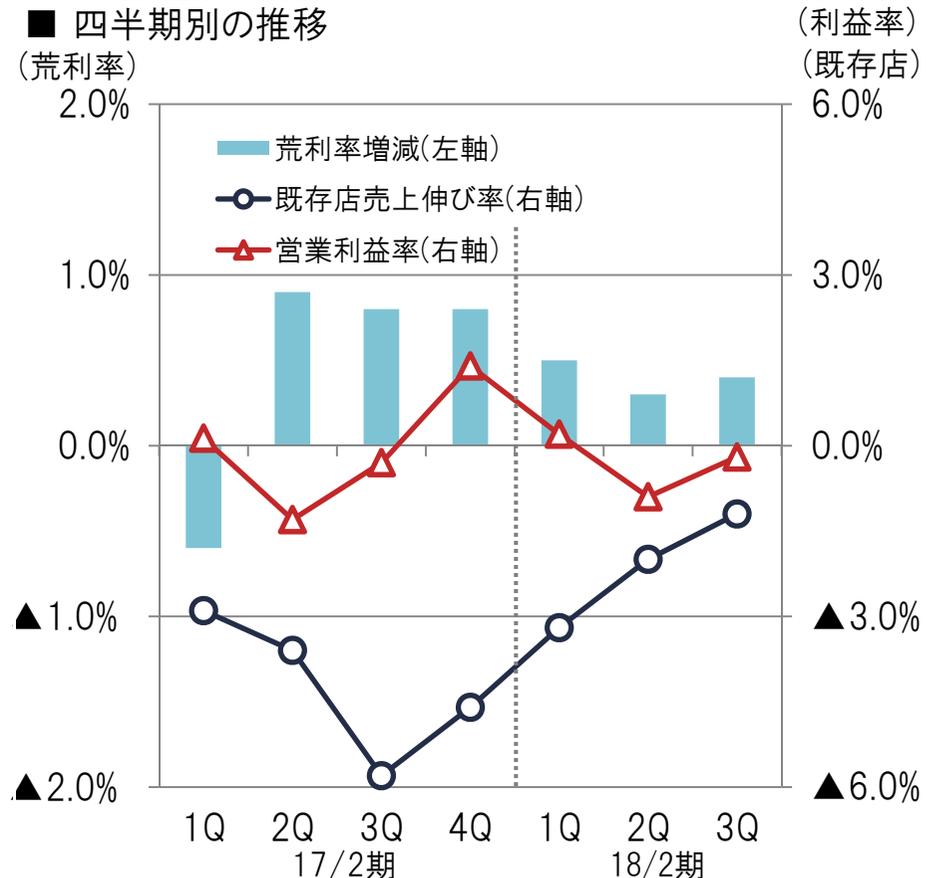
概況

- ・既存店売上 : チラシの本数削減や衣料・住居の割引幅を縮小したことなどによりマイナス
- ・荒利率 : 販促の見直しや衣料の値下げロス削減等によりプラス
- ・営業利益 : 販管費の削減(▲60億円)や荒利率の改善等により、既存店売上マイナスを補い、増益

改装進捗

今期19店舗改装計画 / 3Q累計15店舗改装実施(内、完了11店舗、第一期4店舗)
(アリオ化:1店舗、アリオ既存:8店舗、テナントミックス6店舗)

*SC合計の既存店売上伸び率



スーパーストア事業：実績②

ヨークベニマル



主に既存店売上と荒利率のマイナスにより減益

	実績	前期比
営業利益	90億円	90.0% ▲10億円
既存店売上伸び率	▲0.6%	
商品荒利率	25.4%	▲0.3%
営業利益 (ライフフーズ込み)*	117億円	87.7% ▲16億円

概況

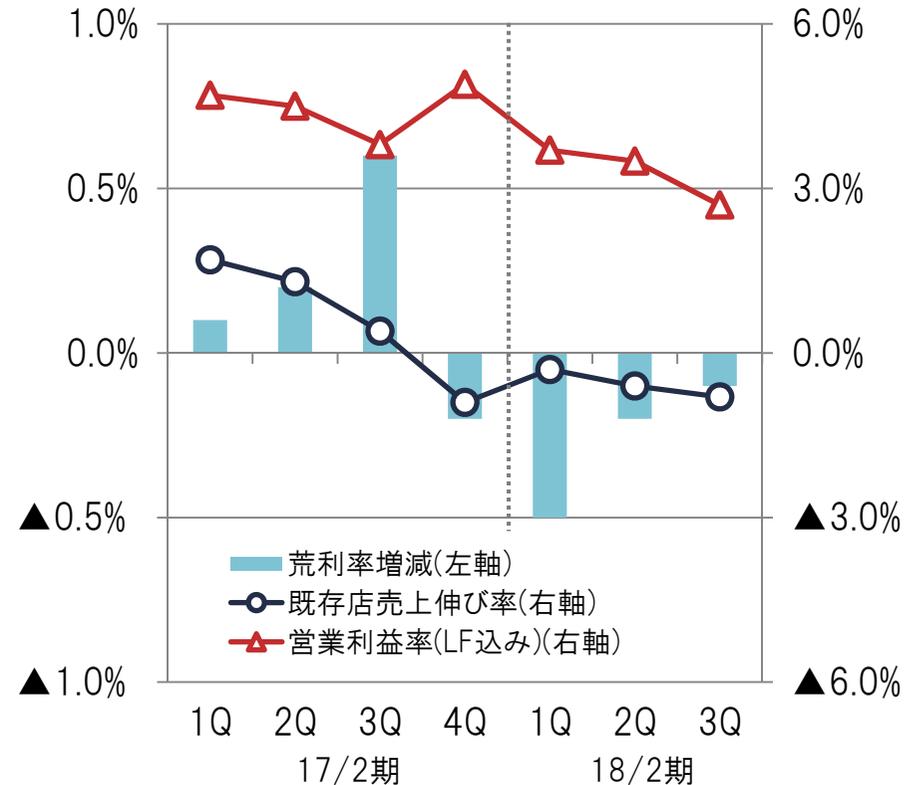
- ・既存店売上：食品が前年並みとなり衣料・住居の苦戦を補えずマイナス
- ・荒利率：主に鮮魚・精肉の相場高が影響したことなどによりマイナス
- ・営業利益：既存店売上と荒利率のマイナスにより減益

*ライフフーズ(LF)・・・主にヨークベニマル(YB)の店舗において惣菜を製造・販売しているヨークベニマルの子会社

(注)YB+LFの営業利益は管理上の数値です。

■ 四半期別の推移

(荒利率)



百貨店事業：実績

そごう・西武



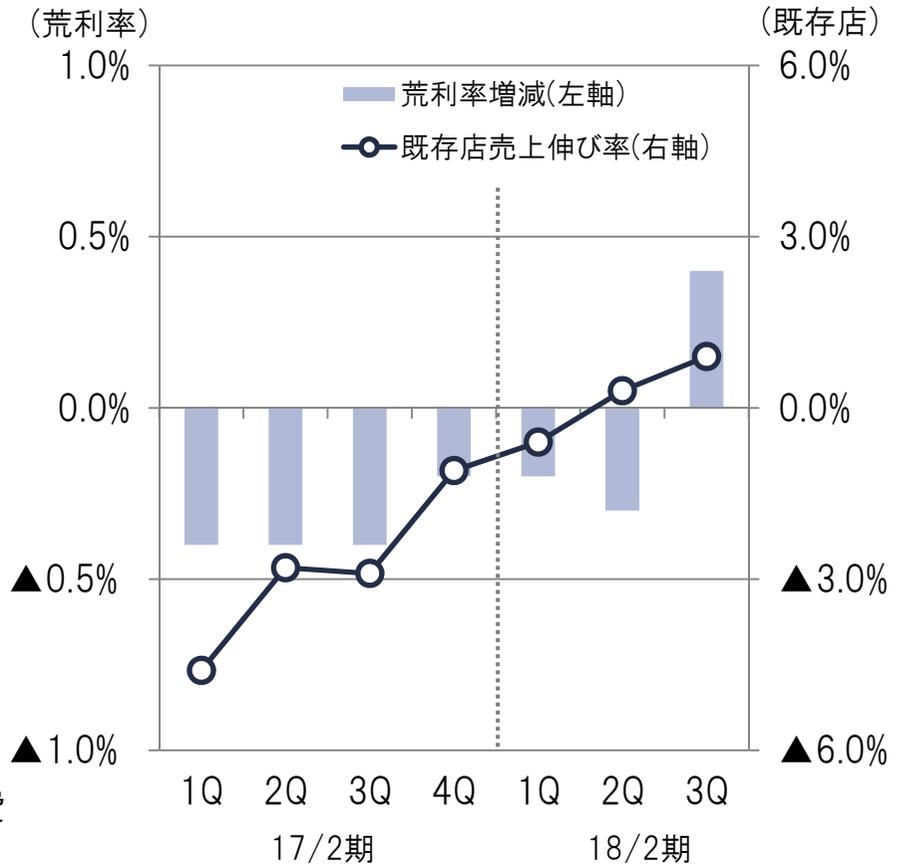
既存店売上の伸長と構造改革に伴う販管費の適正化により増益

	実績	前期比
営業利益	▲1.4億円	- +16億円
既存店売上伸び率	+0.2%	
商品荒利率	24.3%	±0.0%

概況

- ・既存店売上：宣伝装飾費の適正化を推進するも前年を上回って推移
- ・荒利率：3Qにおける値下げロス削減や衣料売上の改善により前年並みまで回復
- ・営業利益：既存店売上の伸長と構造改革に伴う販管費適正化により増益

■ 四半期別の推移



当社が開示する情報の中には、将来の見通しに関する事項が含まれる場合があります。この事項については、開示時点において当社が入手している情報による経営陣の判断に基づくほか、将来の予測を行うために一定の前提を用いており、様々なリスクや不確定性・不確実性を含んでおります。

したがって、現実の業績の数値、結果等は、今後の事業運営や経済情勢の変化等の様々な要因により、開示情報に含まれる将来の見通しとは異なる可能性があります。